



全国市町村交流レガッタ日田大会 (チーム名/上:レースクイーン 下:おっさんがクルー)

Vol.59 9月定例会

令和元年11月1日号

# 菊池

題字/菊池北中学校3年 源 和花菜 さん

## 議会だより

お知らせ

議会報告会を開催します

P20

一般質問

14人が市政を問う!

P9~16

可決

常任委員会報告

P5~8

令和元年度一般会計補正予算

P3

### 議会報告会開催のお知らせ

菊池市議会では、開かれたわかりやすい議会を目指し、下記のとおり議会報告会を開催します。  
なお、昨年に引き続き1会場での開催とし、市内のすべての皆さんを対象とします。ご理解の程よろしくお祈りします。

市民の皆さんのご参加をお待ちしています。

日 時	会 場
11月18日(月) 午後7時~	泗水公民館 大研修室 (養生市場の南隣り)

### 令和元年12月定例会日程の予定

月 日	区 分	日 程
11月29日	本会議	開会・会期の決定 議案上程・提案理由説明
(11月30日~12月3日 休会)		
12月4日	本会議 委員会	質疑・委員会付託 予算決算常任委員会
12月5日	本会議	一般質問
12月6日	本会議	一般質問
(12月7日~8日 休会)		
12月9日	本会議	一般質問
12月10日	本会議	一般質問
12月11日	委員会	常任委員会(予算決算分科会) ・総務文教 ・福祉厚生 ・経済建設
12月12日	委員会	常任委員会(予算決算分科会) ・総務文教 ・福祉厚生 ・経済建設
(12月13日~16日 休会)		
12月17日	委員会	予算決算常任委員会
(12月18日~19日 休会)		
12月20日	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決・閉会

※会期中に日程が変更になる場合があります。

### 編集後記

皆さん、こんにちは。  
私たち広報委員4名と事務局1名で、お隣の大津町と佐賀県嬉野市へ研修に行っていました。  
大津町では、写真等をたくさん掲載することにより、見る広報誌を目標に作成されておられましたし、嬉野市では、広報委員の議員皆さんが、企画・構成までしっかりと携わっておられました。あらためて、議会広報誌の大切さを実感した研修になりました。  
これから、私たちが多くの皆さんに読んでいただけるような議会だよりになるよう、提案・検討しながら作成していきます。どうぞよろしくお祈りします。  
緒方 哲郎



■議会広報特別委員会■  
委員長 / 水上 彰澄  
委員 / 田中 教之  
副委員長 / 緒方 哲郎  
委員 / 福島 英徳



## 令和元年度一般会計補正予算（第5号） 可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億3,561万8,000円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ292億6,488万6,000円とするものです。

### 主な補正内容

#### ○プレミアム付商品券事業 1億520万円

消費税・地方消費税10%の引き上げに伴い、住民税非課税者や子育て世帯(0～3歳半児)の消費に与える影響を緩和するため、プレミアム付商品券を販売し、消費の喚起を行います。また、この事業を実施することにより、管内事業者の受注拡大を図ります。



#### ○道路橋りょう新設改良事業 329万5,000円

国・県道と市道を結ぶ重要な路線、地域道路として必要な路線の改良・整備を行い、車両の安全で円滑な通行を確保することにより、市民生活における利便性の向上と地域の活性化を図るものです。

内容としては、鴨川公園板井線道路改良事業と塚原若木線道路改良事業の予算にかかるものです。

#### ○道路橋りょう維持事業 2,141万5,000円

市道等の老朽化により損壊した道路路面、道路施設の維持修繕、整備を行うことにより、道路機能の保全を図るものです。道路の管理瑕疵や要望において、危険度の高い箇所を早急に修繕していくための予算です。

#### ○建設改良事業 453万2,000円

計画的かつ効率的な上水道施設の整備を推進し、給水区域内における安全安心な水道水の安定供給を図るものです。

内容としては、亘深川線配水管布設替工事設計業務委託の増額です。

## 令和元年度一般会計補正予算（第6号） 可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3,210万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ292億9,698万6,000円とするものです。

### 主な補正内容

#### ○単独災害復旧事業 140万円

8月下旬の豪雨により被災した市道を早急に復旧するための、建設機械の賃借料を増額するものです。

#### ○農林水産施設災害対策事業 3,070万円

8月下旬の豪雨により大規模に法面が崩落した、林道八方ヶ岳線の復旧に係る測量設計等委託料と工事請負費を増額するものです。

## 令和元年 第2回 定例会

この定例会では、令和元年度菊池市一般会計補正予算をはじめ、特別会計補正予算、条例など28議案が提案されたほか、請願1件、陳情2件も慎重に審議しました。追加議案として補正予算1件、議事1件、意見書案1件、決議案1件が提出されました。また、報告が5件ありました。

審議の結果、原案のとおり可決・承認・認定しました。主なものは以下のとおりです。

開催日：8月28日(水)～9月27日(金)

## 令和元年第2回定例会における主な付議事件一覧及び審議結果表

議案番号	議案名	結果
議案第38号	菊池市下水道事業の設置等に関する条例の制定について (P6参照)	原案可決
議案第39号	菊池市下水道事業の設置等に関する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第50号	平成30年度菊池市一般会計歳入歳出決算の認定について (P7参照)	原案認定
議案第51号	平成30年度菊池市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第52号	平成30年度菊池市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第53号	平成30年度菊池市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第54号	平成30年度菊池市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第55号	平成30年度菊池市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第56号	平成30年度菊池市地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第57号	平成30年度菊池市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
決議案第2号	菊池市議会 二ノ文伸元議員に対する辞職勧告決議 (P4参照)	原案可決

## 賛否表

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 除は除斥

議案	結果	議席番号	議員名																			
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	13	14	15	16	17	18	19	20	
			田中教之	福島英徳	緒方哲郎	後藤英夫	平直樹	東奈津子	坂本道博	水上隆光	猿渡美智子	松岡崇之	荒木圭一郎	工藤典臣	城賀慶一	大賀彰澄	水上元	二ノ文伸	泉田栄一朗	木下雄二	山瀬義	
議案第38号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第39号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第50号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第51号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第52号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第53号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第54号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第55号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第56号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第57号	可決	18対1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
決議案第2号	可決	14対4	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	除	○	●	○

※除斥：議案と一定の利害関係を持つ議員は、当該議案の審議・採決に参加することができない。  
上記以外の議案は、全会一致で可決しました。



## 総務文教常任委員会

委員長／水上 隆光 副委員長 東 奈津子 委員／田中 教之、松岡 譲、工藤 圭一郎、城 典臣、大賀 慶一

### 請願第1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書提出の要請について 採択

ゆたかな子どもの学びを保障するため、計画的な教職員定数改善を推進すること。教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。以上の2点が実現されるよう、国の関係機関へ意見書の提出を求めるものです。

紹介議員「文部科学省によれば35人定数は1年生のみ、2年生以上は40人学級が原則となっている。熊本県では2年生まで35人以下が実現しているが、これが実現していない県はなく最低レベルとなっている。熊本県は臨時採用教職員の不足も深刻な問題になっており、この問題を解消するには正規職員を増やすことが必須であるが、予算を伴うことであり財源確保ができなければできない。そうした意味からも国庫でみていくことが必要であると考える」

執行部「国の動向はどうか」

紹介議員「文部科学省としては定数改善を行いたい方針がでていますが、財務省との駆け引きが続いており、来年度も厳しいと思う」

採決の結果、請願第1号については賛成多数により採択すべきものと決定しました。



### 陳情第3号 「菊池市の官公需について市内中小企業・小規模事業者への受注機会の確保、増大」に関する陳情 採択

本市の官公需に関して、菊池市中小企業振興基本条例に則り、受注機会の確保・増大について特段の配慮を払い、関係機関・法人・団体等に対して、一層の周知徹底を要望するものです。

委員「陳情の理由として、受注機会が大きく低下しているとあるが、具体的には」

陳情者「データ等までの調査はなされていない。2年前に入札担当課、発注の機会がある所管課、市内業者等で意見交換を行い、中小企業振興条例に併せて小規模事業者にも配慮いただきたいことをお話しした。特に、各課から発注される随意契約が市外業者に出される問題があり調整を行った。しかしながら、最近、元の状況になっているとの申し入れがあり、今回陳情書という形で提出させていただいた。陳情が採択されれば行政と協議をして、お互い理解のうえで実行する機会をつくらうと思う」

委員「陳情の理由に対する執行部からの意見を伺いたい」

執行部「市内で取り扱っているものについては市内業者を利用するように周知しており、予算要求の説明会時でも、各課に対し見積りについても同様の取り扱いをするよう伝えている。市内で取り扱いができないものもあるが、市内業者への発注は進んでいるものと考え。業者選定については、通常30万円以上が契約検査課の合議を必要とするが、市外業者を入れた場合は10万円としている」

採決の結果、陳情第3号については賛成多数により採択すべきものと決定しました。

## 福祉厚生常任委員会

委員長／猿渡 美智子 副委員長 泉田 栄一朗 委員／福島 英徳、水上 彰澄、二ノ文 伸元、山瀬 義也

### 議案第33号 菊池市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について 可決

住民基本台帳法施行令の一部改正に伴い、旧氏での印鑑登録が可能になったことにより、条例の一部を改正するものです。また、LGBTの取り組みにより、申請書の男女の別の記載欄を併せて削除するものです。

委員「旧姓をつかひやすくするためということだが、どんな事例があるのか。LGBTについてもう少し説明してほしい」

執行部「旧姓を記載することにより、銀行などの登録の変更がスムーズにできるようになる。これまで印鑑登録証明書をつけて改定をしなければならなかった手続きにおいても、旧姓のままできるようになる。LGBTについては、各申請書の男女の別の記載欄について各自治体で検討を行っている。今回の件でも、男女の記載がなくても申請は可能であり、身分証明も写真のついた確実に確認できるもので実行していきたい」



## 菊池市議会の声を国へ要望

### 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書（抜粋）

学校現場では、解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを実現するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっている。ゆたかな学びの実現のためには教職員定数改善などの施策が最重要課題である。

義務教育費国庫負担制度については、「三位一体改革」の中で国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられた。厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置等を行っている自治体もあるが、自治体間の教育格差が生じることは大きな問題である。国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。

よって、国会及び政府においては、地方教育行政の実情を十分に認識し、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、下記の措置を講じられるよう強く要請する。

- 1 計画的な教職員定数改善を推進すること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

## 議員辞職勧告決議を可決

定例会最終日に「決議案第2号 菊池市議会二ノ文伸元議員に対する辞職勧告決議案」が山瀬義也議員から提出され、二ノ文議員の弁明、提案理由の説明、質疑、反対討論、賛成討論がありました。（一部抜粋）

弁明「議長室において、私が柘原議長に対して「殺す」などの発言は絶対に言っておりません。また、山瀬議員に対して追突したことに対しましては、9月10日に第三者を介して山瀬議員宅を訪ね、足がもつれて追突してしまったことを謝罪し、山瀬議員も納得され、握手もされております」

反対討論「この件は、9月3日の議会審議会で柘原議長より、一部の議員や報道機関に出回った怪文書を、秘密会とした上で、二ノ文議員が議長に暴言を吐いたことを議題とした件であります。秘密会の内容も含め、両者の主張は食い違ったままであり、秘密会で行われた内容が熊日新聞に掲載されたことも合点がいきません。熊日新聞にも、ほかの議員からは「本人同士で解決したら」「議会の品位が失墜する」と冷ややかな声も掲載されておりました。

この件はまだ本人に対して司法による罰金刑等が確定したような事案でもなく、暴言に至る内容も何も確認されておりません。このような状況では、議員辞職勧告決議案を出すべきではないと考えます」

賛成討論「議員が議員に対して「殺すぞ」と発言する。これは議員が議員に対して身の危険を感じさせ、相手を制圧しようとする行動であります。この暴言は許されるものではありません。」

9月4日の熊日新聞を読んだ私の地元の旭志地区からも、この問題はきちっとけじめをつけるべきだという声が私のところにも届いています」

採決の結果、賛成多数により決議案第2号は可決しました。

決議文（抜粋）は次のとおりです。

二ノ文伸元議員は、平成31年3月から令和元年8月まで、菊池市議会会議規則第151条に反し、また、菊池市政倫理条例第2条3項に反する言動を複数繰り返した。

具体的には、まず、7月19日、二ノ文議員は議長室で「殺すぞ」と発言した。また、先月8月27日に社交組合のパーティーの場で、山瀬義也議員に対して、二ノ文議員が背後から私に激しく体当たりした。

二ノ文議員の一連の言動は議会内だけの問題でなく、多くの市民に周知されている問題である。したがって、二ノ文議員の一連の言動は、市民の菊池市議会に対する信頼をなくす行為であり、議員辞職に値する。

よって、本市議会は、二ノ文伸元議員に対して、自らの意思によって議員の職を辞することをここに勧告する。以上、決議する。

#### ※議員の辞職勧告決議

議員に対し、自らの意思で、議員の職を辞するよう求める内容の議会の決議のこと。法的拘束力はない。



## 議案第50号 平成30年度菊池市一般会計歳入歳出決算の認定について 認定

委員 ふるさと納税について、「目標額より下回っているが、ふるさと納税を増やす施策は考えているのか」

執行部 「本年9月より、できるだけ多くの方の利用を促すためANAのポータルサイトを一つ増やした。また、東京でのイベントにブースを設け、直接ふるさと納税の方法と納税をいただくよう職員を派遣した。まだまだ足りないが、納税増に向けた取り組みをさせていただきたい」



委員 財政調整基金について、「一定規模の積み立てが必要であることは認識するが、県内の自治体と比べると本市は高い状況である。比率が高いことに対してどのように認識しているか」

執行部 「他の自治体と比べ高い率を示していると思う。しかしながら、公共施設管理計画では、40年後には半分の施設を減らさないと財政的には難しくなってくるとの状況を踏まえ、公共施設関係の整理に充てていく必要がある。また、起債の残高についても約350億円あり、将来の償還も含めると現状を維持していくことが必要と考える」

委員 図書館費について、「図書購入は市内3社で間違いなのか」

執行部 「図書納入組合は市内本屋の3社でつくられている。平成29年度は1億1,205万7,380円、平成30年度は4,920万1,454円が図書納入組合からの納入である」

委員 「平成30年度に電子図書が利用可能となったが、現時点での電子図書冊数と利用状況はどうか」

執行部 「所蔵数は6,266冊で8月末までの閲覧数が1,186回となっている」

委員 地方創生推進交付金事業について、「インターネットショップは何年か経ったら自走すると言われてきたが、売り上げ目標はいくらか」

執行部 「年間1億円の売上額を目標としている」

委員 「今回の決算だけで言えば、インターネットショップ運営管理委託料に約2,200万円を支払って、収益金が約1,000万円なので、約1,200万円の赤字となっている。年間1億円の売上目標を掲げて、2,200万円の委託料を支払っているのに、インターネットショップの売り上げが7,000万円ぐらいしか上がっていないということは、そこに約3,000万円の差が出てくる。売り上げ目標に届かないまま次の年に入るとするのは、民間であればそうはいかないと思う。もっとシビアにやっていただきたい」



委員 都市整備課の債権調書について、「前年度からの滞納繰越額と今回の収入未済額を見てみると、全体的に減ってきている。特に、雇用促進住宅駐車場使用料においては、収入未済額が前年度は10万7,900円であったが、今年度は1万4,191円まで減ってきている。債権管理条例に基づきやった結果であると感じる。また、住宅使用料の滞納額は約6,000万円あるが、これからは菊池市債権管理条例に基づいて厳しくやっていただきたい。本来、そこに住みたい人が住めなくて、家賃を払っていない人が長く住んでいるという現状はどうか」

執行部 「滞納額については、現年度分よりも過年度分のほうが、なかなか回収できない状態である。今後は、税務課をはじめ徴収事務を行っている部署と連携して、成果が上がるような方法を考えていかなければならないと考えている」

議案第50号から議案第57号については反対討論があり、採決の結果、賛成多数により可決・認定すべきものと決定しました。また、それ以外の議案については、討論もなく、採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決・認定すべきものと決定しました。

## 経済建設常任委員会

委員長／坂本 道博 副委員長 後藤 英夫 委員／緒方 哲郎、平 直樹、荒木 崇之、木下 雄二

## 議案第34号 菊池市森林環境譲与税基金条例の制定について 可決

森林環境譲与税の創設により、菊池市森林環境譲与税基金を設置するに当たって、地方自治法の規定により条例を制定する必要があるため、条例を制定するものです。

委員 「あまりメリットがないような自治体もあるみたいだが、菊池市にメリットはあるのか」

執行部 「市町村への配分の基準について、50%は私有林の人工林面積となっており、20%は林業就業者数で、30%は人口割りとなっている。森林面積が54.8%である本市は、人工林面積の部分で配分が多くなるが、人口割の部分で不利となっている。金額については、現在のところ公表されていない状況である」



## 議案第38号 菊池市下水道事業の設置等に関する条例の制定について 可決

本市では、令和2年4月から企業会計に移行するため、地方公営企業法施行令第1条第2項の規定に基づき条例の制定が必要となるため、条例を制定するものです。

委員 「事業所の業務料金などが、旧七城町区域と旧泗水町区域とで違っていることを、前回の委員長報告で指摘しているが、今回、条例を改正するのなら一緒に改正したほうが良いのではないか」

執行部 「来年4月に企業会計移行を行うが、移行してもすぐに見えてこない部分もあると考えている。また、今後、経営戦略等を作成し、審議会を立ち上げて、試算等も行って精査しながら、料金改定に向けて進んでいきたいと考えている」

## 予算決算常任委員会

委員長／平 直樹 副委員長 松岡 譲 委員／議長を除く17名

## 議案第40号 令和元年度菊池市一般会計補正予算（第5号） 可決

### ●社会福祉総務事業費の工事請負費 2,578万4,000円

委員 「戦没者の慰霊碑については、旧4市町の一つ一つを全部移設する工事になるということか」

執行部 「旭志、泗水、七城それぞれにある慰霊碑を同じ場所に移設するものである。当初は、平和塔敷地内への移設の要望であったが、その場所が国有地であることや擁壁の強度の問題等から、平和塔の下に位置する遺族の共有地のほうに移設するものである」

### ●公園費の公園施設整備事業 2,100万円

- ①鴨川河畔公園左岸側の八つ橋、護岸、せせらぎ水路の改修工事
- ②鴨川河畔公園右岸側トイレにおける、子ども用トイレの設置改修工事

鴨川河畔公園の整備事業において、工事の内容を一部見直したことに伴う、工事請負費の増額です。公園内の池を渡る八つ橋が老朽化により通行不可となっており、池の衛生状態も良くないことから、八つ橋を全て撤去して、池の部分は全て埋め戻す計画でしたが、県との協議や地元の意見を踏まえて、八つ橋部分については全部を埋め戻すのではなく、八つ橋の一部を残すように修正するものです。

委員 「河川を埋め戻すのはよろしくないという話になっているが、もし、こういった変更をせずに、八つ橋は使わず、埋め戻しをするところまで計画が進んでいたとしても、問題はなかったのか」

執行部 「そのまま埋め戻しできないか県と協議を続けているが、長期化している状況である。また、地元からは、鴨川公園は洪水の調節機能を持っているため、整備する上で、水害が起きないように配慮してほしいと言われている。それらのことを考慮し、河川の中に入れる泥の量と河川の外に出す泥の量を、最低でも同じにするところで設計を見直したほうが間違いなく事業が進むと判断して、切り替えたところである」



▲鴨川河畔公園の整備予定地



# 14人が市政を問う

## 一般質問

質問者	質問事項	P	質問者	質問事項	P
①平 直樹	1.子ども議会について	10	⑩大賀 慶一	1.国際交流について	14
②田中 教之	1.地方創生について	10		2.自衛官募集の協力について	
③後藤 英夫	1.鳥獣被害対策について	11		3.消費税について	
	2.交通安全対策について				
④猿渡美智子	1.総合体育館の再整備について	11	⑪木下 雄二	1.道路整備について	15
	2.教員不足について			2.有害鳥獣による農林作物の被害への対策について	
	3.幼児教育・保育の無償化について			3.スペインスエカ市との交流の現状について	
⑤緒方 哲郎	1.農福連携について	12		4.旧迫水小跡地への進出企業の着工の時期は	
	2.農家民泊について		5.竜門ダム市町村交付金の龍門地域への活用について		
	3.地域包括支援体制について		6.九州産廃菊池営業所廃止による地元水迫地区への対応は		
	4.空き家対策について		⑫二ノ文伸元	1.本市における生涯スポーツについて	15
	5.小学校児童について				
⑥城 典臣	1.観光地としての現状について	12	⑬福島 英徳	1.児童虐待防止対策について	16
	2.コンビニ納付について			2.安心・安全なまちづくりへの施策について	
	3.合併協議会について			3.七城地域の地下水汚染問題について	
	4.災害時の避難誘導について		⑭荒木 崇之	1.菊池市中央図書館の閲覧用椅子購入にかかる入札問題について	16
	5.九州産廃問題について			2.横断歩道の線(グリーンベルトを含む)を引くのに、なぜ3年もかかるのか	
⑦東 奈津子	1.LGBTについて	13	<p style="text-align: center;"><b>議会をインターネットで!!</b></p> <p style="text-align: center;">菊池市議会ホームページより 議会録画中継がご覧になれます。</p>		
	2.災害弱者の避難体制について				
⑧泉田栄一郎	1.小学校の農業教育について	13			
	2.電気自動車普及促進について				
⑨坂本 道博	1.消防団について	14			
	2.有害鳥獣対策について				
	3.富田基平について				

## 【提 言】

歳入歳出決算の審議を通して議員から出た指摘や意見等のうち重要なものについて、以下のとおり提言として取りまとめ、執行部に対して提出しています。

- 行政改革による人件費削減を注視しながらも喫緊の課題には対応しなければならない。行政改革を進める必要もあるが、人を削減すればいいだけでなく業務の質や中身が大切である。行政改革を考慮しつつ、ICT 等を活用しながらの適材適所の人員配置と適正な職員数の配置を求める。
- 収入の調定手続きや基金積立・取崩しでの厳格な執行。適切な補正予算の編成措置及び不用額の整理、予備費の充用、予算流用等のより慎重な取扱い。費用対効果を重視し、より充実した施策のための予算執行。固定的な委託契約や長年にわたる随意契約の点検と必要な見直し。指定管理者等に対する委託料の収支内容の点検。未登記土地の解消を含め、公有財産の適正な管理。これからの本市財政に生かす地方公会計の整備と活用。以上を踏まえた職員研修等を実施し、職員のスキルアップを図るべきである。
- 収納率については、税務課職員の努力によって年々改善されてきている。しかしながら、依然として未納額や不能欠損額は高額となっており、さらに、扶助費等各事業費の増加や高齢化に伴う税収の低下なども懸念され、今後、今以上に税収の確保が重要となる中、更なる努力によって、収納率の向上を推し進めていただきたい。
- 各事業では、多数の外部委託がなされ、それに対する委託料も多く発生している。外部委託の必要性は十分に理解出来るが、委託金額に対する妥当性が図りづらい案件がある。委託に関しては、金額の根拠も含めきちんと精査をし、適正な予算執行となるようにすること。
- 何かの事業を始めて、その後終わったなら報告すべきではないか。事業をやった結果について、議会も意識を共有して、次の予算の審議のときのためにも経験を積んでおきたいので、結果や主要事業にかかわらず報告すべきである。継続事業については報告の必要はないと思うが、そのときそのときの政策に応じてやった事業については、今後は積極的に出していただきたい。
- 道路や橋りょうの維持管理について、今後先細って行く予算の中で、今と同じような維持管理は難しくなると思う。議会も執行部も一緒になって、総論・各論の中でずれは出てくるとは思うが、総体的なところで、維持管理のお金は履行していくことをしっかりと共有していくべき。

上記、提言事項のほか、予算決算分科会審査を通じて各委員からの指摘や意見を踏まえ、今後の予算執行に十分反映することを執行部に要望しました。



子ども議会について



平 子ども議会

子ども議会に提案された中で、使わなくなった文房具等を活用してもらうためのスリランカへの文房具の送付、下校時の防犯対策の一つとして防犯灯の設置などが実現されている。

今後とも、子ども議会において、すぐれた提案があれば、執行部ですらに検討し、市の施策として予算化したり、広報紙等でPRするなどして、子ども議員の参加意欲の向上を図っていききたいと考えている。

平 一般質問を作る際、我々市議会議員に応援を呼びかける考えは。

教育長 学習をより効果的にするために、地域の方々をゲストとしてお招きするということは、現在、学校でもよくあることであり、その意味で、議員のご提案は、大変ありがたいことだと思っ

平 今後、良い案があれば予算化して、具現化するという前提で呼びかける考えは。



平 より良い子ども議会

平 より良い子ども議会にする一方で、議員のなり手や市政へ興味を持つきっかけにつながることを考えるが、市長はどう考えるか。

市長 子どもたちが市政に関心を持ってもらうように、何らか自分の立場で力を発揮したいという提案については、大変ありがたいと思っ

地方創生について



田中 まち・ひと・しごと創生基本方針

2019を踏まえ、今後の市の方針を示す。

政策企画部長 本市では、地方版総合戦略である癒しの里きくち創生総合戦略を平成28年3月に策定している。

田中 スマートシティ構想について、市の見解を示す。

田中 市のデータを有効活用するために、企業や市民に公開する「オープンデータ」を推進する予定はあるか。

基本的なところは変更せずに、引き続き癒しの里の実現に向けて取り組むところとしている。

田中 スマートシティ構想について、市の見解を示す。

政策企画部長 国土交通省が推進しているスマートシティに関しては、ICT等の新技術を活用したまちづくりについては、国土交通省以外に、内閣府、総務省など各府

田中 市のデータを有効活用するために、企業や市民に公開する「オープンデータ」を推進する予定はあるか。

政策企画部長 本市が有する情報については、まだ整備不十分な部分はあるが、オープンデータ



という形で、その一部はホームページで公開している。また、昨年度末に策定した、菊池市情報化推進アクションプランでも、ビッグデータ・オープンデータの利活用の推進を掲げているので、公表に向けて、現在、庁内のいろんな統計データの作業部会を設けて、そこを中心に各種データの取りまとめを行っている。そういった状況なので、ニーズに応えられるように、可能なものからオープンにしていきたいと考えている。

有害鳥獣被害について



後藤 山間部の農家の

方々から、主な収入源になる農作物が有害鳥獣により大変な被害にあっていると聞く。このような状況の中で、地域のために駆除している方々に対して、柵やわな・捕獲報奨金等、年間の必要な予算を組む等、行政として協力すべきだと思うが、本市の考えは。

経済部長 有害鳥獣を捕獲した場合に支払われる報奨金は、有害鳥獣の捕獲許可を受け、菊池市有害鳥獣捕獲班員が捕獲したイノシシを報奨金の対象としており、本年度の予算については、430頭分で215万円を計上している。

また、市内在住の農家の方に対して、侵入防止柵や防鳥



で、こういう事業を使いながら補助をしていき

後藤 捕獲した猪等の命を無駄にせず、ジビエとして処理し、道の駅等で食肉販売する自治体が

後藤 若者のわな猟免許取得者も増えている。猪等の捕獲に必要なわな等の購入貸し付けに対して補助を行う考えは。

経済部長 ジビエの活用については、現在のところ考えてないが、市内での需要があるかどうかの調査は行っていき

総合体育館のトイレ改修を



猿渡 総合体育館には

洋式のトイレが少なく、市民の方から不自由だという声が上がっている。この不足だということだが、今後、教員の確保にむけてどう取り組むのか。

教育部長 体育施設の個別施設計画を今年度末に策定することにして

猿渡 熊本県下に臨時採用教員の不足が広がっている。菊池市では二人の不足だということだが、今後、教員の確保にむけてどう取り組むのか。



可保育所で子どもの事故が多発している現状を考えると、指導監督基準を満たさない施設については、無償化の対象から外す条例の制定が必要ではないか。

市長 現在、認可保育所だけで入所を希望する児童の受け入れができていない状況であり、無認可の保育所が出てくる状況は、当面見込めないと考えている。まずは、県との連携を密にし、指導監査や、確認監査等を実施することで、現在の保育の質を確保できるように努力したいと考えている。よって、現時点では、条例の制定は考えていない。ただ、状況の変化等があれば、ほかの自治体等の状況も注視しながら、改めて検討したいと考えている。



## 緒方 哲郎 議員

### 農福連携について



**緒方** 農福連携における農業・福祉それぞれの課題の把握状況とその取り組みについて示せ。また、連携体制の状況は。

**経済部長** 農福連携においては、農作業請負を希望する事業所と、作業をお願いしたい農業者とのマッチングが課題であると認識している。このことから、本年4月から県の障がい支援課に配置されている農福連携のコーディネーターを活用して、事業所と農家のマッチングなどの支援を行う必要があると考えている。また、課題解決に向けた取り組みの一つとして、菊池グリーンカルビレッジ構想業務において、大手電子商取引事業者との連携により、菊池農業高校と市内社会福祉

法人が協力し、農産物の商品づくりからネット販売までを実践する取り組みを実験的に行っている。

**健康福祉部長** 福祉事業所等の農業へのかかわりとして、就労訓練の場所としての活用や農作業の一部受託、農産物の加工や販売など、事業所の特色を生かしたさまざまな取り組みが行われている。しかし、身体障がいや知的障がいなど、障がいの特性や程度により、可能な農作業の種類が異なることから、作業内容の見きわめ、環境整備や作業工程の細分化、作業をサポートする人材配置などさまざまな配慮が必要となること、また、障がい者の支援という視点での農業者側の理解と協力を得る必要があることなどが課題であると認識している。また、福祉事業所等の農業への事業展開については、障害者総合支援法に基づき、就労

移行支援及び就労継続支援A型・B型の三つの福祉サービスのうちにおいて実施されており、引き続き連携して取り組んでいきたい。

**緒方** 農家民泊で地域活性化に頑張っている方々は何人いるか、また、今後の市としての考えは。

**経済部長** グリーンツーリズムの中で農家民泊を中心とした取り組みについて、菊池ふるさと体験協議会への委託により推進を行っており、当協議会には現在7軒が加入している。今後は、協議会のほかにも民泊を営んでいる方に対して、助成事業や地域資源等の情報の提供、いろんな取り組み事例等の情報発信を行うことにより、農家民泊を推進していきたいと考えている。



移住支援及び就労継続支援A型・B型の三つの福祉サービスのうちにおいて実施されており、引き続き連携して取り組んでいきたい。

**緒方** 農家民泊で地域活性化に頑張っている方々は何人いるか、また、今後の市としての考えは。

**経済部長** グリーンツーリズムの中で農家民泊を中心とした取り組みについて、菊池ふるさと体験協議会への委託により推進を行っており、当協議会には現在7軒が加入している。今後は、協議会のほかにも民泊を営んでいる方に対して、助成事業や地域資源等の情報の提供、いろんな取り組み事例等の情報発信を行うことにより、農家民泊を推進していきたいと考えている。

## 城 典臣 議員

### 九州産廃問題について



**城** 今回の違法行為により、水迫地区での産廃事業は終了するが、今後は、何年かかるかわからない廃棄物の無害化を行わせるため、監視体制の強化と、業者との話し合いを実施してもらいたい。また、この問題は、水迫地区だけのことでなく、全市民的な問題と捉えて対処してほしいが市の考えは。

**市民環境部長** 今後は、菊池事業所内の不適正処理物の撤去及び残存廃棄物の処理並びに管理型最終処分場の維持管理が着実に履行されるよう、県と合同で随時抜き打ちでの立入検査を行い、適正処理の確認及び指導等を行うことなど、監視体制を強化していきたい。全市民に対しては、広報きくちへの掲載及びホームページでの公表を

実施するとともに、全区長会での説明も行っていきたい。

**城** 観光地として、市民広場を含めた周辺の街なかをゆつくり散策しながらお土産品を買える街並みにできないか。

**経済部長** 菊池観光協会が行う菊池観光案内人による観光ガイドや菊池十五夜めぐりと題し、菊池のお菓子家めぐりマップを使ったまちなか散策を推進することで、観光客に癒しを感じてもらいながら市内滞在時間を延ばす取り組みを行っている。あわせて、にぎわいを取り戻すための創業支援事業補助金や創業融資制度などの空き店舗対策により、雑貨店、菓子店などお土産も買えるような店舗の出店も図っている。

**城** コンビニ納付について、各種税金の納付がコンビニでできるよう、平成26年に質問して5年が経過している。サービスの面からも、市民目線から考えても実施してほしいがどうか。



しいかどうか。

**市民環境部長** 初期導入費用が、800万円から1,000万円程度の費用が見込まれ、ランニングコストについても、1件につき61円の手数料、さらに毎月の基本料金がかり、窓口納付や口座振替の手数料と比較すると、多額の経費がかかるため、口座振替率の低い市税等については、まずは口座振替を上げることが最優先として推進している。しかし、導入した市町に問い合わせたところ、収納率の向上や費用対効果は見込まれないが、県内でもコンビニ納付ができる市町村が増えてきている状況で、市民の利便性や住民サービスの向上の観点から、税料金も含めて、今後、検討したいと考えている。

## 東 奈津子 議員

### LGBT(性的マイノリティ)について



**東** 昨年の9月議会での一般質問で、公共施設の多目的トイレに「どなたでも利用できます」という表示を進めるよう要望したが、どうなっているか。

**総務部長** 多目的トイレの表示で、どなたでも利用できますとしたトイレの表示等にした場合は、一般の方の利用も多くなることが予想され、一般の方が長時間使用して、本来必要とする方が使用できないなどのデメリットもあると聞いている。必要な人に配慮しながら進めるため、参考になる先進市町村の状況などを踏まえ、本市の状況に応じた取り組みを現在検討している。

**東** 当事者の方にき

んと情報が届くように、市のホームページにLGBTに関する「まよめページ」を作成し、自治体で可能なことをはっきりさせて発信すべきと思うがどうか。

**総務部長** 現在、市のホームページに、LGBTに関するコーナーは設けていない。LGBTに関する相談については、専門窓口ではないが、男女共同参画専門委員相談で受けることができる。今後は、先進事例などを参考にしながら、必要に応じて対応していきたい。

**東** LGBT当事者の子ども達のいじめ被害経験率、不登校率、自傷行為経験率は、全国の調査でも異常に高いことが明らかとなっている。学校現場でこの問題を深く理解し、支援につなげるためにも、全教職員を対象に研修を行っていくべきと思うがどうか。



**教育部長** 昨年度に実施された8月の教職員全員を対象とした研修をきっかけとして、教職員の意識は高まっていると報告を受けている。また、泗水小学校では2017年1月に、既に教職員を対象としたLGBTに特化した校内研修を講師を招いて実施している。本年度は、個人的に人権教育課題別研修会の共生の教育で学んでいる先生もおり、性教育の授業を行っていくに当たり、教材研究でLGBTについて自主的に学んでいる教職員もふえている。今後

も、LGBTに対して正しい理解と知識を持って児童・生徒に向き合う教職員がふえるよう啓発を進めていきたいと考えている。

## 泉田 栄一朗 議員

### 小学校で生命育む農業教育を!



**泉田** 土に親しみ、繰り返し新たな生命が生まれてくる農業こそが、希望を取り戻し、自分の生命を大切に育む心が芽生え、心の教育に最適であると考える。そこで、①本市における農業教育の現状、②時間数の割合と地域別の特徴、③JA職員等、外部協力体制を取り入れる考えは、④農業科を作る考えはあるかを示す。

**教育部長** 小中学校の農業教育の取り組み状況は、各学校で多少の違いはあるが、全ての学校において取り組みが行われている。小学校では、低学年は生活科の学習において、野菜を中心とした栽培を行ったり、高学年では、総合的な学習の時間を活用した米づくりを行っている。また、中学

校でも、職場体験学習で農業体験を選択する生徒も見られ、小中学校を通じて、農業教育はこれまで同様継続して取り組みが進められている。

**農業教育に占める時数の割合と地域の特徴は、各学校において多少の違いは見られるが、多いところは、七城小学校5年生が50時間を確保し、年間を通して米づくりに取り組んでいる。また、全ての小学校において、学校ごとに最低でも10時間は農業教育に時数を確保しており、体験活動の重要性は全ての学校が理解している。菊池北小学校の赤米づくり、花房小学校での支援米づくり、七城小学校での学年系統性を考えた継続性ある米づくり、泗水西小学校の全学年での梅ちぎりや米づくりなど、地域の特徴を生かした体験活動学習支援が展開されている。外部協力体制については、各学校ともに、地域の方々やJAの協力のもと、各栽培活動を充実さ**



せている。旭志中学校の1泊2日での宿泊農業体験や泗水西小学校の梅ちぎり等は、JAや地域の方々のご協力をいただいております。菊池北小学校の赤米づくりや、シイタケ栽培では、旅館協同組合や菊池地域林業研究グループ連絡協議会の協力をいただき、地域の方々に支えられながら農業教育を展開している。また、2年前から菊池農業高校の生徒が泗水中学校を訪問し、委員会活動において花植えを指導する活動も始まっている。

**農業科を作る考えについて**は、全校共通して農業科としての取り組みを、同じ時数で求めているのではなく、総合的な学習の時間やさまざまな教科において、今進んでいる各学校での農業教育を充実させ、地域の特徴を生かした教育活動の展開を重視していきたい。



### 消防団員の処遇改善について



**坂本** 消防団員の年報酬、幹部報酬、出勤手当では、合併後、増額されていない。総務省の指針により、交付税単価に近い報酬額になるように増額すべきではないか。また、庁舎内に消防団長室の設置はできないか。

**総務部長** 団長及び団員の報酬を上げられないかということだが、今後、他市の状況等も見ながら、総合的に判断したい。また、消防団長室の設置については、特定した部屋を設けることは、現在の市役所庁舎の使用状況、執務室の配置などから難しいと考える。しかし、災害対応時など消防団の指揮所を市役所内に

設置した際は、庁内会議室の一つを消防団待機スペースとして使用してもらうよう計画している。

**坂本** 有害鳥獣捕獲報奨金が不足した。本年度は、捕獲した頭数全てが報奨金の対象になるようにできないか。また、捕獲報奨金の増額についてはどうか。

**経済部長** 報奨金の支払いについては、本市及び近隣市町を調査・研究し、捕獲頭数や被害の状況を見ながら弾力的に対応したいと考えている。国や県からの報奨金の増額については、国からの交付金としていただいております。今後、増額の要望していきたい。

**坂本** 郷土の偉人、福田基平氏の顕彰碑の碑文が、色落ちや汚れのため



読みづらくなっているの

で、読みやすくできないか。また、顕彰碑、日本遺産構成文化財としての説明プレートなどがある場所までの案内看板の設置はできないか。

**教育部長** 顕彰碑は、旧七城町にて、土地改良区及び当時の理事からなる福田基平翁顕彰碑建立期成会により建立されている。顕彰碑の土台部分に福田基平氏の偉業の碑文が彫り込まれているが、確認したところ、読みにくい状況であった。今後は、土地改良区とも協議を行いながら、碑文の表示方法について検討していきたいと考えている。また、場所もわかりにくいところにあることから、案内表示についても、今後、検討していきたい。



### 竜門ダム交付金の一部を龍門地域の振興基金として設立の要望があるが市の考えは

**木下** 竜門ダムの下流域の西迫間寺小野線千畳河原への観光ルートとしても重要な古川伊倉線、植木インターへの立石野間口線、柏木護線、また、林道鞍岳線の整備の状況は。

**建設部長** 市道西迫間寺小野線は、現在、橋りょうの上部工を発注し、工場製作中ということであり、設置は、本年度中の完了を予定している。古川伊倉線は、延長1400mの改良工事を10月頃に発注予定である。その後、新たな辺地計画により随時進めていく。立石野間口線は、延長62mの改良工事を9月中に発注する予定である。柏木護線は、約700mの舗装工事を11月頃に発注予定である。その先の区間については、来年度からの新た

な辺地計画に基づき順次舗装工事を行っていく予定である。林道鞍岳線は、部分的に修繕や補修が必要な箇所については、随時行っている。今後は、来年度から令和6年度までの新たな辺地計画に基づき、舗装工事を進める予定である。

**木下** 竜門ダム交付金は地元への貢献と協力によって平成16年度からいただいているが、龍門地域の方々にはメリットを感じていない。交付金の一部を龍門地域の振興基金として設立の要望があるが市の考えは。

**総務部長** ダム交付金は、国や県が所有する固定資産に対して地方税法で定める固定資産税のかわりに交付され、市町村の一般財源として受け入れられるもので、交付金の一部を基金として創設する考えはない。

**木下** 九州産廃が廃棄物を違法に処理していた事が判明し、地元水迫地



▲5月再スタートした龍龍館

区の方々には会社に裏切られたと説明会でも怒りの声が噴出した。今後の最終処分場の維持管理、環境整備基金の運用について市の対応は。

**市民環境部長** 今後、地元住民の代表も参加する監視委員会を開催し、菊池事業所内の現地調査も実施した上で、菊池事業所周辺の水質検査回数をふやすなど、監視体制の強化について協議・実施していく予定である。また、菊池事業所内の不適正処理物の撤去及び残存廃棄物の不適正処理の着実な履行のため、県と合同で随時、抜き打ちで立入検査を行う予定である。今後は、水迫地区の区長や環境推進委員会、組織される水迫地区環境保全協議会の方と連絡調整を行いながら、随時進めたいと考えている。

### 国際交流について



**大賀** 本市はこれまでに、中国泗水県、韓国金提市、清洲市と交流をしてきたが、日中、日韓関係の悪化で交流事業の継続が危惧されている。今後は、どのように対応するのか。また、台湾等の親日国との交流は検討しないのか。

**政策企画部長** 今後の子どもたちの交流については、市内等に生まれている外国人との交流など、世界に目を向け、より多くのことに興味・関心を持ち、国際感覚を育てていけるような取り組みを、菊池国際交流協会とも協議・検討し、可能なものから実施していきたいと考えている。

**市長** 台湾との交流については、民間同士の観光や経済的な交流、文化

的な交流が具体的にどんな積み重なっていくことが、今後の人々の交流の上でも非常に重要だと思っている。民間同士の交流が深まっていくことを大いに期待しているところである。

#### 自衛官募集について

**大賀** 本市は、国からの自衛官募集の依頼を受けてどの様な対応で望んでいるのか。

**総務部長** 名簿提供については、自衛隊法施行令及び本市個人情報保護条例に基づき、防衛大臣から募集対象者名簿の提供依頼があった場合に、紙媒体で提供している。懸垂幕については、本庁舎正面に掲げて、自衛官募集の呼びかけを行っている。

#### 消費税について

**大賀** 10月から国の消費税が10%に引き上げられるが、本市として準備はできているのか。また、

**総務部長** 施設の使用料及び手数料のうち、消費税相当分を利用者に転嫁すべきものについて、水道使用料及び下水道等使用料を除き、昨年の12月の定例会に条例改正案を上程し可決いただいている。



地方消費税の本市財政に与える影響はあるのか

消費税率引き上げに伴う市の歳入歳出への影響額については、平成30年度決算額を基礎とし、通年10%の税率となった場合の概算だと、歳入である地方消費税交付金については、平成30年度決算額9億4,651万3,000円に対し、見込み額が約12億2,000万円となり、約2億7,000万円の増収となる見込みである。

### 生涯スポーツについて



**二ノ文** 社会体育における様々な活動の実施状況について示せ。

**教育部長** 障がい者スポーツの普及では、ニューズスポーツとしてポッチャという競技が取り上げられており、障がい者の方や総合型スポーツクラブからの整備要望があつてきた。現在、社会体育課において購入手続を進めており、9月末には整備できると考えている。次に、高齢者スポーツでは、高齢者健康教室を年40回の講座で行っており、ラジオ体操やストレッチ体操、ソフトエアロビクス、筋力トレーニング、ダンス、マッサージ等を行っており、定員に近い約50名の方が参加されている。次に、生涯スポーツ教室は、年間5回から10回の講座で、さまざまな年代の方が自分に合った教室を選択され

ている。また、さわやか健康教室は、年41回の講座で、ストレッチやミニバレー、ペタンク、ピンポウリング、ファミリアバドミントン、グラウンドゴルフなど、さまざまなスポーツを楽しく行っており、定員に近い65名の方が参加されている。

**二ノ文** 社会体育参加のない児童の割合、理由等に対する調査の有無及び調査が未実施の場合、今後の実施の予定について示せ。

**教育部長** 社会体育に参加していない児童の状況や理由等に関する調査は、行っていない。今後は実施するかは、加入者の推移を見ながら、必要であれば調査を行いたいと考えている。

**二ノ文** 本市では、障がい者スポーツをどのようにとらえ、啓発推進を図っているのか、現在の状況と課題、今後について示せ。また、オリンピック競技種目である、ポッチャは老若男女、障がい



の有無に関わらず、すべての人が参加できるスポーツであるので、次年度、市民体育祭の種目に取り入れ、試験的導入の方向で検討してはどうか。

**健康福祉部長** 障がい者スポーツについては、毎年4月から5月にくまもと障がい者スポーツ大会が開催されており、前回大会出場選手及び障がい者福祉団体、障がい福祉事業所へ案内を送るとともに、広報やホームページへ掲載し、参加取りまとめを行っている。**教育部長** ポッチャについては、障がい者の大会では種目化されてきているが、この競技は障がいのない方でも子どもから大人まで、誰にでもできる競技なので、将来的には市民体育祭等で種目化できればと感じている。市民への普及もこれから始めていきたいと考えているので、もう少ししばらく時間がかかると考えている。



### 児童虐待防止対策について



**福島** 児童虐待防止に向けた本市の対策と、関係機関との連携について具体的に示す。

**健康福祉部長** 虐待の未然防止や早期発見、早期対応のほかに、住民に身近な場所での相談支援機関として、子育て支援課内に家庭児童相談室を設け、虐待を含めた児童や家庭のさまざまな相談に対応している。また、警察や児童相談所、学校、保育所、医療機関などから構成された、菊池市要保護児童対策及びDV防止対策地域協議会を設置し、代表者会議やケース検討会議を随時開催して、情報共有や支援内容の検討を行っている。

**福島** 七城地区の地下水汚染に対して家畜排泄物のバイオオマスの利活用を含めた、汚染防止施策の進捗状況を示す。

**市民環境部長** まず、堆肥の野積み等の確認については、環境課で月2回、農政課で月1回、それぞれ農地を巡回し、改善が必要な畜産農家及び耕作者に対して、野積み解消等に向けた指導を行ってきている。次に、地下水対策協議会の開催については、熊本大学との共同研究の中間報告を行い、硝酸態窒素削減計



プログラムに基づき、学校、PTA、道路管理者、警察などの関係機関と連携し、児童・生徒の通学路における安全対策を進めている。また、未就学児の散歩コースについては、子育て支援課で、市内28施設に危険箇所の抽出を依頼、結果を道路管理者と菊池警察署に報告し、合同点検を実施する予定である。

画素案について協議を行っている。次に、住民への報告会については、硝酸態窒素濃度の高い地区の住民を対象に開催している。次に、亜硝酸窒素の浄水器補助の追加については、厚生労働省で施行された水質基準に関する省令の改正により、水質基準項目に亜硝酸態窒素が追加されることになっており、菊池市浄水器設置補助金交付要綱においても、基準値の改正を行っている。また、家畜排泄物の過剰散布による地下水への影響も考えられることから、家畜排泄物を用いたエネルギー転換システム等の導入については、調査を継続してきている。昨年度は、乳用牛のサラリーを原料としたバイオガスを電化として、個別農家型モデルと集中型モデルの二つの案をもとに、第三者から見た事業採算性及び民間事業者の参入可能性を検証してきた。現在は、その検証結果をもとに、事業者可能性の検討を行っている。

### 中央図書館閲覧用椅子の入札問題について



**荒木** 当初納入予定であった1脚6万9,000円の椅子が8万7,500円となり、32脚分の差額と空輸運搬費と併せて140万円の増額の変更が行われている。

**教育部長** 一般的に、仕入れ先は仕様書に規定してないので、確認をしていない。

**総務部長** 受注元が、そこから先の部分に関しては市のほうが立ち入るところではないと考えているため、そちらのほうは確認していない。



▲中央図書館の閲覧用椅子

**荒木** 海外へ商品発送する荷物にはすべてインボイス(送り状)をつけなければならぬとされている。インボイスは存在するのか?存在するならば、その日付と、どの会社へ送られたのかを示す。

**教育部長** インボイスの確認については、輸入元であるMagis Japanのほうへ尋ねたところ、保管しているところ、聞き取りにより確認しており、インボイス自体はまだこちらのほうには持っていないので、日付、その他どこから来たのかは、まだ確認等はとれていない。

### 桜山地区の横断歩道の整備について

**荒木** 泗水地区の桜山(つきやま歯科前交差点)

の横断歩道については、平成28年に整備するとされてきたが、未だ整備されていない。横断歩道の線を引くのになぜ3年もかかるのか。

**総務部長** 道路区画線整備に関しては、平成28年度に担当で現場を確認し、通行量が多く、区画線等の消えかかっている部分も多くあった市道の区画線工事を実施したところだが、本年3月に区長より要望していた場所がまだ未整備であるとの指摘を受けたので、今度は区長と現地確認を実施したところ、場所の相違があったということだった。これについては、今年度発注をし、現在、契約まで終わり、準備ができており、工事に着手する予定である。

議会の動き	9月	3 日	議会審議会/議会報告会運営会議
		13 金	議会運営委員会/総務文教常任委員会所管事務調査
		24 火	議会審議会/総務文教常任委員会所管事務調査
		27 金	議会運営委員会
		28 土	全国ポート場所在市町村協議会・第15回議長懇話会(大分県日田市)
			第28回全国市町村交流レガッタ大潟大会~29日まで(大分県日田市)
	10月	6 日	首都圏七城会(東京都)
		10 木	総務文教常任委員会所管事務調査
		11 金	議会報告会運営会議
		15 火	熊本県市議会議長会~16日まで(宇城市)/議会広報特別委員会
		21 月	月例会/議会広報特別委員会
		31 木	愛知県額田郡幸田町議会より行政視察(あいのりタクシーの運行状況について)

## 議長交際費を公表します

議長交際費の令和元年8月1日から9月31日までの支出状況を公表します。議長交際費は、議長が市議会を代表して対外的な活動をするために必要な経費として認められており、その支出にあたっては、社会通念上妥当と思われる範囲にとどめるよう努めております。

### 議長交際費の支出状況

交際費の項目	件数	金額	詳細
会費	2件	9,000円	公的性格を有する団体との協議会費及び負担金
その他	2件	30,000円	他自治体への研修および議長会等の経費
計	4件	39,000円	

### 議会傍聴をお待ちしています!

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、行政に対する一般質問も行います。

日程や一般質問者等の詳細は、議会事務局にお尋ねください。また、3階の議場の傍聴席はバリアフリー対応となっておりますので、本庁1階のエレベーターで3階までお越しください。皆様のお越しをお待ちしております。なお、各支所でも生中継でご覧いただけます。

9月定例会においては延べ89名の傍聴がありました。  
12月定例会は11月29日(金)開会の予定です。



### 議会をインターネットで!

傍聴においでいただけない場合でも、いつでもインターネットで本会議の録画映像をご覧いただけます。菊池市のホームページより菊池市議会をクリックし、議会中継をクリックしていただくと議会録画映像を見ることができます。

使い方の説明も掲載していますのでご参照ください。

議会事務局/TEL25-2325

菊池市議会 議会映像 検索





# 全国市町村交流レガッタ日田大会

## 市議会議員チーム「菊池ドラゴンズ」が参加!



大分県日田市の三隈川の特設会場で9月28日、29日に開催されました。なお、8月に本市の竜門ダムで開催されたインターハイボート競技大会において、日田三隈高校ボート部が男子ダブルスカルの部で準優勝するなど、レガッタが盛んな地域でもあります。

本市からは、市議会議員の部に1クルー、熟年男子の部に1クルー、熟年女子の部に1クルーが

参加しました。成績は、議会議員の部には14クルーの参加があり、「菊池ドラゴンズ」は予選2組で4位となったため、翌日はB決勝1組へ進み、B決勝1組のレースでは1位でフィニッシュしました。熟年男子の部に出場した「おっさんがクルー」は予選3組で4位、B決勝1組で2位、熟年女子の部に出場した「レースクイーン」は予選2組で4位、B決勝1組で1位となり、全ての競技を終えました。

また、開催地である日田市をはじめ、来年度開催地である鹿児島県薩摩川内市など、全国から参加されたチームと交流を図り、大変意義ある大会となりました。皆さんの応援ありがとうございました。



## 菊池市議会による九州産廃(株)の現地視察

既に市民の皆様も報道等によりご存知とは思いますが、九州産廃株式会社の菊池事業所で、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に違反する廃棄物の不適正処理の事案が発生しました。これは、今年2月に県への通報により発覚したものです。

内容としては、①埋め立て終了処分場への廃棄物の埋め込み、②調整池への廃棄物埋め込み、③安定型処分場への埋め立て可能品目以外の廃棄物の埋め込みです。

菊池市議会としては、この件について8月7日に県及び市から詳細な説明を受けた後に質疑を行い、今後の方針や対応について確認をしました。

また、市議会定例会での各議員による一般質問を通して、菊池事業所内の不適正処理物の撤去、残存廃棄物の処理、管理型最終処分場の維持管理が着実に履行されるよう、県と市の合同で随時抜き打ちでの立入検査を行っていき、適正処理の確認、指導等を行って、監視体制を強化していきたいとの方針も確認しています。

既に市民に対しては、広報きくちへの掲載、ホームページでの公表、全体区長会での説明も行われている状況ですが、このたび菊池市議会としても、所管する委員会だけではなく、市全体に関わる問題として捉えて、10月21日に九州産廃の現地調査を行っています。



【九州産廃現地調査】

## 議会広報特別委員会研修報告

日程 令和元年8月5日～6日  
研修目的 議会広報の編集全般

### 【熊本県大津町議会】

#### ○議会広報(議会だより)について

大津町では、議会広報とは、公金を使って議会の状況を住民にお知らせするものであり、読んでもらえなければ意味がないと捉えている。そのため、各ページにおいて極力、写真・イラストを用い、文字も大きくするなどの工夫をしている。

これらは、広報特別委員が主催して定期的に開催している、住民との意見交換会において、その時々意見を反映して取り組んだ結果となっている。

そのほか、住民参加型の議会広報を目指し、平成25年8月発行号から「傍聴者の声」を掲載しており、平成29年11月発行号からは「議会への提言・疑問・質問、議会だよりへの感想やアイデア等」についてはがきを掲載して募集を行うなどしている。



### 【佐賀県嬉野市議会】

#### ○議会広報(議会だより)について

嬉野市では、議長を除いた全議員を、議会広報編集特別委員会(7名)と議会活性化特別委員会(8名)の2つに分けており、2年ごとに総入れ替えを行いながら、全議員が関わる形で広報づくりを行っている。

紙面づくりにおいては、住民の視点に立って見やすく分かり易い表現にすることや、一人でも多くの住民に理解してもらえるような内容の記事にすることを心がけている。



大津町・嬉野市のいずれにおいても、議員主導で議会広報を作成されており、事務局はそれをサポートする体制であった。議会活動について市民に理解してもらうためには、より多くの議員が紙面づくりに関わること、また、市民からの意見をもっと取り入れて紙面づくりに生かしていくことが大事だと思う。今回の研修で学んだことを生かして、議会だよりが市民にとってわかりやすく、読みたくなるような広報になるよう努めていきたい。

### さらなる議会改革を目指す!

## 議会改革検討特別委員会 設置

地方分権が進展するなか、二元代表制のもと地方議会の果たす役割は重要性を増しており、議会活動の充実・強化を図るとともに、情報の公開、透明性の向上を図ることが一層求められています。

菊池市議会は、より一層、市民の負託にこたえるため、また市民生活の向上と民主政治の発展に寄与するために、議会改革検討特別委員会を設置するものです。

委員は、次の10名で構成されます。

委員長
水上 彰 澄

副委員長
泉田 栄 一 朗

委		員	
田 中 教 之	緒 方 哲 郎	後 藤 英 夫	東 奈 津 子
坂 本 道 博	猿 渡 美 智 子	荒 木 崇 之	二ノ文 伸 元